

インターネットFAX プリンタードライバー 取扱説明書

Windows95/98 日本語版編

本書の内容

1. インターネットFAXのプリンタードライバーで何が出来るか
2. インターネットFAXのプリンタードライバーの動作環境について
3. インターネットFAXのプリンタードライバーのインストールについて
4. インターネットFAXのプリンタードライバーの使用方法について

本書および本件ソフトウェアの内容は、予告無く変更する事があります。

(注1) Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1. インターネットFAXのプリンタードライバーで何が出来るか

インターネットFAXのプリンタードライバーは、LAN接続されたインターネットFAXを リモートプリンターのようにパソコンから印刷したり、あるいはインターネットFAXがメールとして受信印刷できるフォーマットに文書を変換してファイルとして登録する(「TFEファイル作成」機能と言います)することが出来ます。

インターネットFAXがメールとして受信印刷する場合は、インターネット上でのメールプロトコルと同じ Simple Mail Transfer Protocol (以下「SMTP」と略す)を利用しています。受信印刷する原稿データをメールの添付書類として扱います。

添付書類として付加する際にメールの拡張機能 Multipurpose Internet Mail Extensions (以下「MIME」と略す)を、利用しています。

従って、「TFEファイル作成」後、インターネットFAXへメールの添付書類として、ファイルを送信する場合は、MIME機能を持っているメーラでメールを送信する必要があります。

「TFEファイル作成」で登録されるデータは、FAXで利用される圧縮方式の Modified Huffman (以下「MH」と略す)で、圧縮したものに原稿のファクシミリ情報等の情報を付加して、ファイル形式を Tagged Image File Format (以下「TIF」と略す)にしたファイル形式になっています。

2. インターネットFAXのプリンタードライバーの動作環境について

本書で説明しているのは、「Microsoft Windows 95/98 日本語版用」のインターネットFAXのプリンタードライバーソフトウェアについてです。

- ・ CPU が 80386SX 以上 (80486 以上を推奨) 搭載のパソコン。
- ・ Microsoft Windows 95/98 日本語版が動作できる環境。
- ・ 最低必要メモリ容量は、12MB 以上。
- ・ 使用ディスクメモリ容量は、4MB 以上。

- ・ プリンタードライバーソフトウェアをオンラインで入手する為に、WWWブラウザが動作する事。
- ・ TFFファイル作成機能を使用して、インターネットFAXへメールを送信する場合は、MIME機能を装備しているメールが動作する事。

3. インターネットFAXのプリンタードライバーのインストールについて

pt95jxxx.exe のファイルが、Microsoft Windows 95/98 日本語版 用の プリンタードライバーソフトウェアのプログラムです。(注 xxx は、Version 番号です) また、lprjpxxx.exe のファイルがプリンタ機能を実現するために必要なLPRです。(それぞれ圧縮されています)

インターネットFAXのプリンタードライバーをインストールする前に、プリンタードライバーをインストールするパソコンとインターネットFAXがLAN接続されている必要があります。

また、インストールの際にインターネットFAXのLAN上でのIPアドレス、およびWindows95/98 のシステムFDまたはCD(プリインストールモデルのパソコンの場合は関係なし)が必要になりますので、あらかじめ確認および用意をしておいてください。

1. ダウンロードした pt95jxxx.exe と lprjpxxx.exe ファイルは、lzh 形式の自己解凍型です。ダブルクリックすると解凍されます。MS - DOS プロンプトのウインドウを閉じます。
2. 最初に LPR をインストールします。(既に LPR がインストールされている場合は3へ進んでください。) lprjpxxx.exe ファイルを解凍して出来た Setup.exe をダブルクリックして、lpr Port Monitor DLL の Set up を行います。「ようこそ」で「次へ」をクリックすると、完了画面が表示されますので「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。再起動されます。
3. プリンタドライバをインストールします。「スタート」ボタンをクリック、「設定」をポイント、「プリンタ」をクリックして、「プリンタ」ウインドウを表示させます。



4. 「プリンタ」ウインドウ内の「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。「プリンタウィザード」が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



5. 「プリンタはどこに接続されていますか?」と表示され、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面が表示されますので、「ローカルプリンタ」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



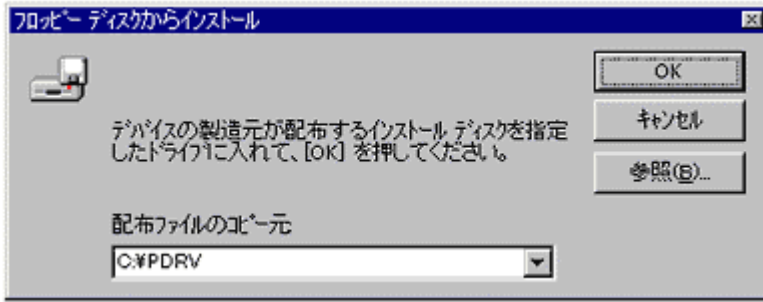
6. 製造元「プリンタ」の表が表示されますが、「ディスク使用」ボタンをクリックします。



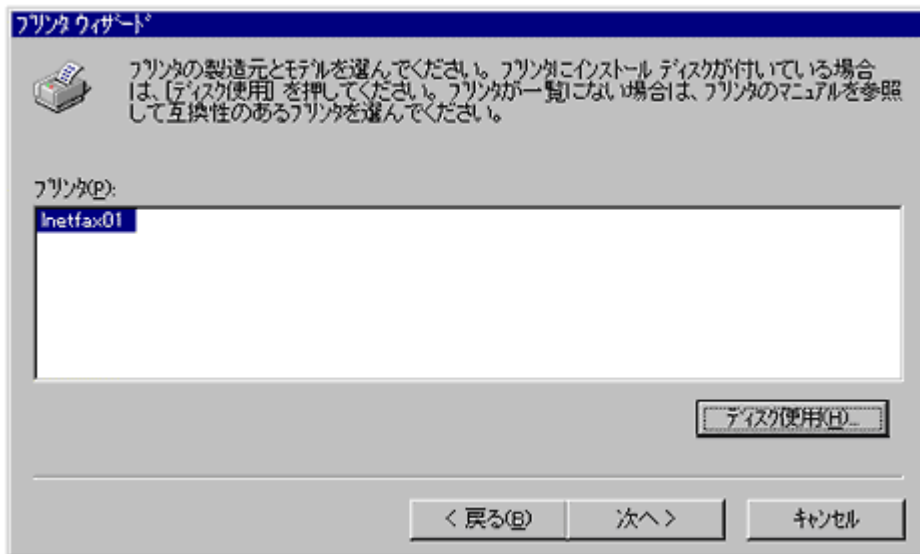
7. 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されますので、「参照」ボタンをクリックするか、「配布ファイルのコピー元」に直接キー入力するかして 上記で解凍したファイルがあるフォルダーを指定します。



8. 配布ファイルの「コピー元」にフォルダーの指定が出来たら、「OK」ボタンをクリックします。



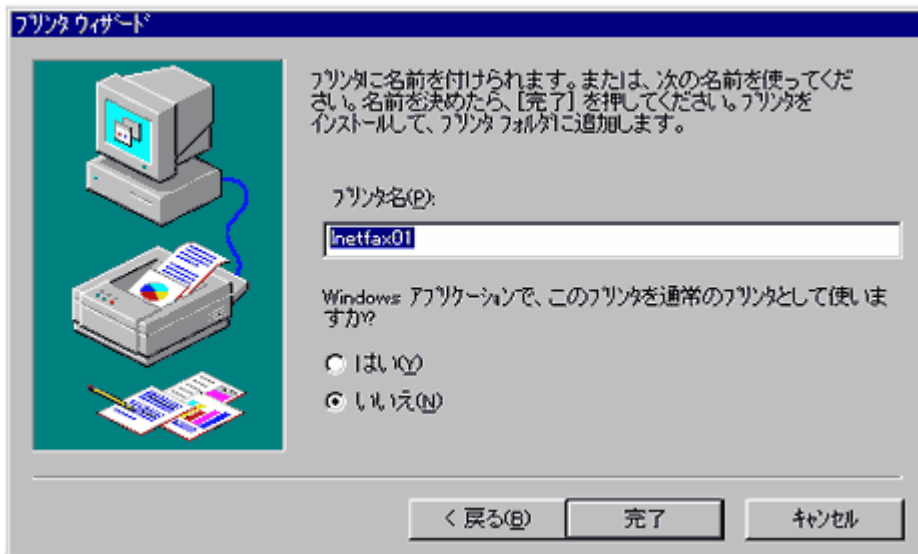
9. 「プリンタウィザード」に戻り、「netfax01」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



10. 「プリンタに使用するポートを選んで、[次へ]を押してください。」と表示され、利用できるポートの表が表示されますので、「LPT1:のプリンタポート」を選択 (反転文字)して、「次へ」ボタンをクリックします。この利用ポートは後で変更します。

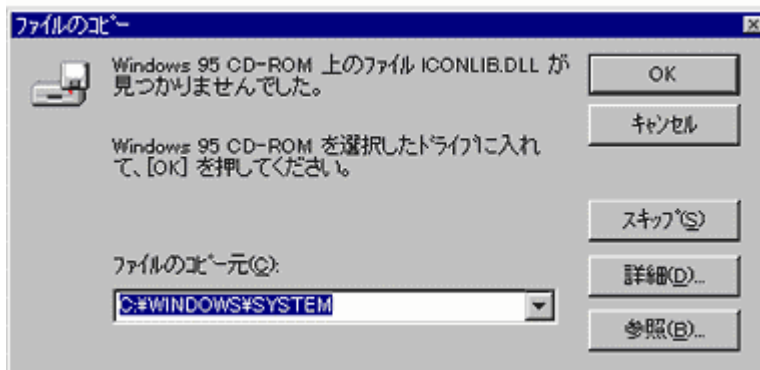


- 11 . プリンタ名に「netfax01」が表示され、通常のプリンタとすることが、選択後「完了」ボタンをクリックします。

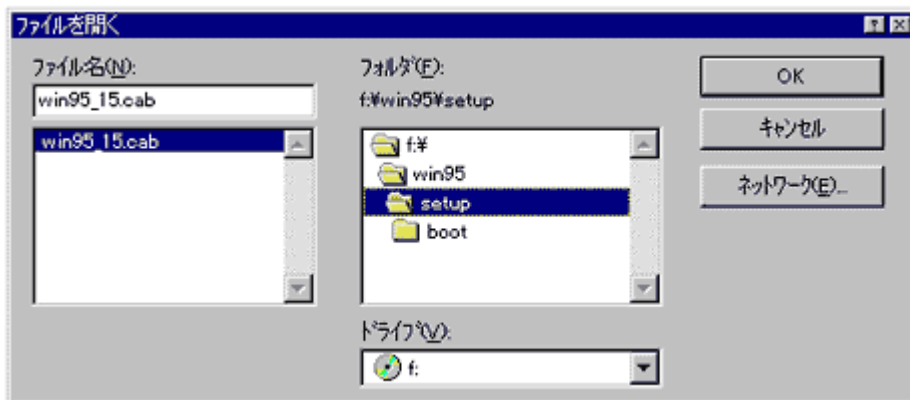


- 12 . 「ファイルのコピー」中に、「CONLIB.DLL が見つかりませんでした」等のメッセージが表示された場合は、次の処理をしてください。

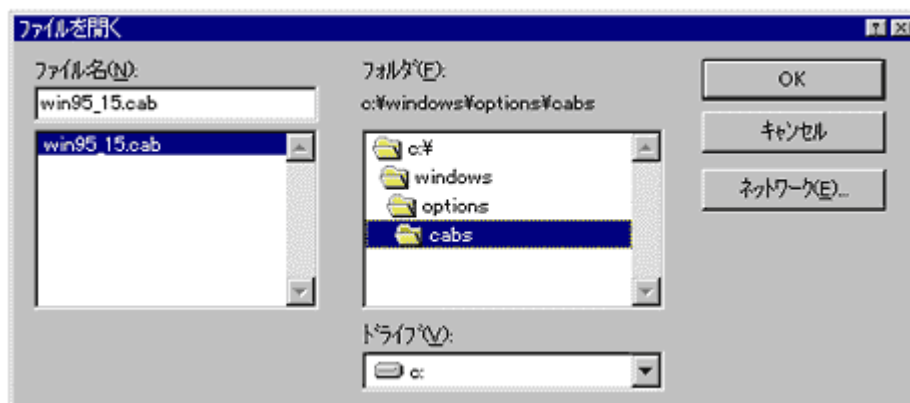
既に他のプリンタドライバがインストールされている場合は、ハードディスク内にコピーされています。「ファイルのコピー元」にホームドライブの「%windows%system」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。コピーが正常に行えた場合は、13へ進んでください。



・メッセージの指定通り、Windows95/98 のシステム CD-ROM (あるいは FD) を、セットして「参照」をクリックします。CD-ROM ドライブ (あるいは FD ドライブ) から「W in 95」フォルダーを指定して「OK」ボタンをクリックしてください。「W in 95」フォルダがない場合は、CD-ROM ドライブ (あるいは FD ドライブ) から .cab ファイル (例 :WIN95_15.cab) が存在するフォルダーを検索して、そのフォルダーを指定してください。コピーが正常に行えた場合は、13へ進んでください。



・プレインストールモデルのパソコンの場合は、メッセージが示す.cabファイル (例 :WIN95_15.cab) をハードディスクから検索し、そのフォルダーを指定して「OK」ボタンをクリックしてください。



13 . ファイルのコピーが終了すると、「プリンタ」ウインドウに「Inetfax01」のアイコンが表示されます。これでプリンタドライバのインストールは完了です。



注意 :インストール完了時に、「インストールエラー」メッセージが表示された場合
・インストールしたプリンタドライバを一旦削除します。

¥windows¥system 配下に*****dpm95.ini ファイルが存在する場合は、そのファイルを違うフォルダーへ移動します。
再度インストールを行ってください。

14 .次に LPR の設定ですが、今回初めて L P R をダウンロードした場合で、より詳細な説明を知りたい方は、【LPR Windows95/98 日本語版取扱説明書】の「lpr ポートの登録方法」をご覧ください。また、既にインストールしてある L P R を使用する場合は、そちらの設定方法に従ってください。

まず、「プリンタ」ウインドウ上の「netfax01」アイコンを右クリックして、「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択してください。

15 .「netfax01 のプロパティ」が表示されます。「詳細」タブを選択し、「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。「ポートの追加」ダイアログボックスが表示されます。

16 .「ポートの追加」で、「その他」を選択して、「追加するポートの種類」から「HLPRMON」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。「lpr Port Name」ダイアログボックスが表示されます。

17 .例で表示されている書式で、インターネットFAXの IP アドレスに続けて「lp」と入力後「OK」をクリックしてください。もし、既にlp が使用されていて、エラーになる場合はlpr とか別のユニークな名前にしてください。

18 .「netfax01 のプロパティ」に戻りますので、「印刷先のポート」に今入力した様に表示が変わっていることを確認後、「更新」、「OK」の順にクリックします。

以上でインストールがすべて完了しました。注意：

インストール完了時に、「インストールエラー」メッセージが表示された場合は、別の弊社製プリンタドライバ(OEM 版など)が既にインストールされていることが原因です。弊社製プリンタドライバを同時に2つ以上併用することはできません。本プリンタドライバを使用する場合には、別の弊社製プリンタドライバを登録から削除してから、再度本プリンタドライバをインストールし直す必要があります。

OEM 版弊社製プリンタドライバは現時点において以下の3種があり、削除すべきプリンタドライバ名は¥windows¥system 配下の、NTXDPM95.INI・SIXDPM95.INI・PBXDPM95.INI を参考にしてください。

・NTT 社：NTXDPM95.INI
・Siemence 社：SIXDPM95.INI
・PitneyBowes 社：PBXDPM95.INI

登録の削除方法は以下の通りです。

「プリンタ」画面から削除したいプリンタのアイコン上で右クリックをし、「削除」をクリックする。

4. インターネットFAXのプリンタードライバーの使用方法について

インターネットFAXのプリンタードライバーのインストールが終わると、インターネットFAXをプリンターとして使用することが出来ます。

実際の印刷の仕方は普通のプリンターを使う場合と同じようにして行います。

一般的には、「ファイル」メニューから「印刷」を選択することになります。

(詳しくはそれぞれのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。)

「印刷」の選択をすると、「印刷」、「TIFFファイル作成」、「キャンセル」を選択するダイアログボックスが表示されます。(一部のアプリケーションでは、ダイアログボックスが隠れる場合があります)

「印刷」は、インターネットFAXへそのまま印刷する場合に選びます。

「TIFFファイル作成」は、後ほどインターネットFAXへメールで送る場合に選びます。

「TIFFファイル作成」を選びますと、変換したTIFFファイルを保存する場所をどこにするか、指定するために「ファイル作成」のダイアログボックスが表示されます。

- ・ 「ドライブ」と「フォルダ」で、場所を指定してください。
- ・ 「ファイル名」に、作成するファイル名を入力してください。(拡張子tifは変更しないでください。)
- ・ 「ファイルの種類」は、変更しないでください。

「キャンセル」は、印刷を止める場合に選びます。